

事業者排出量削減報告書

(宛先) 京都市長	平成 24 年 7 月 26 日
報告者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地) 石川県加賀市大聖寺上木町口49-1	報告者の氏名 (法人にあっては、名称及び代表者名) ナイトック・プレジジョン株式会社 代表取締役 西本 裕

主たる業種	電子部品製造業					細分類番号	2	8	2	3
事業者の区分	京都市地球温暖化対策条例第2条第1項第6号					<input checked="" type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ又はウ <input type="checkbox"/> エ				
計画期間	平成 23 年 4 月から平成 26 年 3 月まで									
基本方針	環境目的・環境目標の設定・実施・見直しにより継続的改善に努める。 (環境方針で、電気・ガスの効率的な使用による地球温暖化防止を重点目標に挙げている。)									
計画を推進するための体制	電気・ガスエネルギーの効率的な利用を行い、CO2原単位発生比率低減実施し、親会社の環境保全委員会にて進捗状況の確認・報告を行う。ISO14001活動									
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (22) 年度	第1年度 (23) 年度	第2年度 (24) 年度	第3年度 (25) 年度	増減率				
	事業活動に伴う排出の量	2,463.1 トン	1,325.7 トン	トン	トン	-46.2	パーセント			
	評価の対象となる排出の量	2,463.1 トン	1,325.7 トン	トン	トン	-46.2	パーセント			
	実績に対する自己評価	減産後、12月末をもって工場閉鎖 (終了)								
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (22) 年度	第1年度 (23) 年度	第2年度 (24) 年度	第3年度 (25) 年度	増減率			
	工場	事業活動に伴う排出の量 (工場延床面積×10㎡)	5.33	2.87			-46.15	パーセント		
		事業活動に伴う排出の量 ()						パーセント		
	実績に対する自己評価	減産後、12月末をもって工場閉鎖 (終了)								
重点的に実施する取組の実施状況	基準年度 (22) 年度	第1年度 (23) 年度	第2年度 (24) 年度	第3年度 (25) 年度	備考					
	34.0	34.0								
具体的な取組及び措置の内容	(23) 年度	関係試作工場として減産後、12月末で工場閉鎖 (終了)								
	(24) 年度									
	(25) 年度									
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措置の内容	社員用の駐車場を設けていないので、基本的には自動車通勤者はいない。一部の通勤者に対して公共交通機関の使用を推奨する。								
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価	実質的に強制は困難であるため。								
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区 分	第1年度 (23) 年度	第2年度 (24) 年度	第3年度 (25) 年度	備考					
	森林の保全及び整備によるもの	トン	トン	トン						
	地域産木材の利用によるもの	トン	トン	トン						
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	トン	トン	トン						
	グリーン電力証書等の購入によるもの	トン	トン	トン						
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの	トン	トン	トン						
合 計	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン							
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	工場統廃合 (加賀の本社工場に統合)									
特記事項	平成23年4月1日 代表取締役が、遠藤 徹 より 西本 裕 に交代 平成23年12月31日付で工場閉鎖 (終了)									

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の三年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。